2026（令和 8）年度 第 3 回 高井戸小学校運営協議会 議事録

日時・場所：　2026（令和 8）年 7 月 17 日（金）15:00～16:40・高井戸小学校校長室
参加者：　（事務局）廣野、山田
（委員）秋山、蘆塚、笠原、鬼澤、下河、内藤、蕨南、和田
敬称略・所属・五十音順
欠席：　奥田、中島
議事録担当：　和田
配布資料：　1．次第
2．『「放課後児童対策パッケージ 2026」について（通知）』冒頭 2 ページ（こども家庭庁・文科省資料）
3．『放課後児童対策パッケージ 2026 のポイント』（同上）

以下、［］は発言者を表す。

1．会長挨拶［鬼澤］

6 月開催予定の会議が、台風の影響により日程変更となり本日の開催となった。事務局と委員のみなさまには日程調整でご負担をおかけした。創立 150 周年だった昨年度の成果を引き継ぎ、今年度も子どもたちが元気に活動しており、1 学期が無事に終わったとの認識でいる。なお、本日は 16 時より教職員の紹介と挨拶の時間を確保している。限られた協議時間になるが、忌憚のない意見を出し合うようお願いします。

2．学校長より［笠原］

赴任して 3 ヶ月が経過し、地域・学校・子どもたち・保護者についての解像度も上がりつつある。1 学期を通しての所感や今後に向けての計画を、協議伝達事項で皆さまにお伝えしたい。

3．協議・伝達事項

A．学校より

① 屋上の看板について

- 従来のパネル交換方法は、作業中に柵の外側にあるパネルが落下するリスクがあり、主事担当の方々に危険な作業を強いていた。今回、屋上側で安全にパネルを交換できるようにする改修工事を実施した（2026 年 7 月 15 日完了）。数字パネルの百の位は固定、十の位と一の位を外して交換できる。「周」と「年」の文字パネルも外せる仕様となっている。
  また、地域の方からのご意見および CS 委員や卒業生の皆さまのご意見を検討した結果、創立 151 周年から 154 周年のあいだは「周」のパネルを使わず、文字を詰めて対応することにしたい。「祝」の文字パネルは 5 で割り切れる周年にのみ掲示することにしたいと考える。［笠原］

→　全委員の同意があった。

② 職員玄関の看板設置について

- 第 1 回 CS 会議で提起し、第 2 回 CS 会議において 150 周年記念事業予算で費用をご負担いただけることになった案内看板の件。正門から入った外部来訪者が、来客玄関（兼、教職員玄関）の場所がわからずに困るケースが非常に多いため、看板を設置したい。看板のデザインについては、子どもたちの意見を取り入れる方針とし、図工専科の教員が担当となって、2 学期以降に意見吸い上げとデザイン募集を行う。2 学期中を完成目標とする。［笠原］

→　子どもたちが考えるという点に、多いに賛成する。［下河］

- 区立学校全体として、来訪者の受付や案内は主事室の担当業務に含まれていない。来客用玄関を入った後、目的地までの校内動線が現状ではわからないので、紙の案内なども適宜追加したいと考えている。［笠原］

→ あらかじめ来訪者が分かっている場合には、手の空いた教職員が校門まで出迎える場合もある。［廣野］

→ 施設の構造や人員配置などを踏まえて、よくよく課題を考えると、ひとつの固定式看板を設置するというよりも、可動式の案内プレートと呼び出しチャイムの併設などの方が解決策に向いているかもしれない。コストをかけ過ぎずに、来訪者にわかりやすく、かつ校内安全を守れる方法を検討していくとよいのではないか。［内藤］

来訪者を迷子にさせないという目的のための看板設置には、全員が合意。ただし、教職員玄関上の壁面に横型パネルの看板を取り付ける従来案のほか、小型可動式看板案、呼び出しチャイムの併設導入案なども考慮に入れ、今後詳細を詰めていくこととなった。

③ 正門の電子ロックについて

- 来訪者の入校に関連して。子どもたちが校内にいる時間帯に、正門が施錠されていないことがあるのが気になる。大人が気づかないうちに子どもが出て行ってしまう危険を防ぎたい。［下河］

→ 門の内側から開錠する方法を知っている児童も多く、また、子どもによっては施錠されていても門や壁を乗り越えて出ていく場合があるので、電子ロックだけで完璧を期すことは不可能。［笠原］

→ 悲惨な事件の発生後は、国としてもセキュリティを固める方針で進んでいたが、やはり「開かれた学校」のコンセプトや、円滑な学校活動、予算のバランスを考えると、厳格過ぎるセキュリティの弊害も出てくる。動線の問題とセキュリティの問題を、学校の構造に照らして、整理していくのがよい。［鬼澤］

→ 正門警備員の不在時間等を合わせ、情報と方針の整理後に、「下校時間までは、必ず正門のロックをしてください」というお願いを、保護者や地域に再度周知してもらえると有難い。［和田］

来訪者動線の集約化・明確化と合わせ、正門からの入校者管理について整理し、再度共有することとなった。

④ Ｉ学期の学校（教職員・児童・保護者）の様子について

- 大規模事案の発生もなくＩ学期を終えられた一方で、日々の学校教育活動においては、個別事案が発生してもいる。また、下校後や休日における児童の怪我などの報告も上がっている。
  今後も、教員の指導力向上や保護者との円滑なコミュニケーション、双方のメンタルケア、関わる人々の安全対策を含め、日々の対応につとめていきたい。［笠原］

→ 教員から児童・保護者へ、または保護者や地域から教員へのハラスメント事案について、専門家に入ってもらう仕組みを導入している自治体もあると聞く。高井戸小学校ではどうか？［蘆塚］

→ 杉並区は、スクールロイヤー制度が充実しつつあり、いわゆる「重大事案」についてのサポート体制は整っている方だと言える。ただし、この制度は日常的な事案について使えるものではない。日々の事案については、教育活動における個の尊重と協働・共生のバランスのとり方、関わる人々の共通認識の確立における困難さなどが関係している部分もある。［笠原］

→ 日ごろ、保護者や先生方が問題を独りで抱え込まずに済むような地域の網の目のようなものが、なんらかの解決策になりうることもありそうだ。非常に難しい問題ではあるが、学校での出来事に目を配りながら、我々が地域としてできることを継続的に考えていくことが大事だと考える。［和田］

⑤ 北区の学校火災を受けて

- 先日、北区の小学校で火災があったが、高井戸小学校での避難対策などはどうなっているか。ベランダからの避難が話題になっていたが、高井戸小学校でもそのようなルートは確保されているのか。［秋山］

→ 報道当日、全教員で燃えやすいものの在り処と避難経路の確認等を含めた点検を実施した。特に燃えやすいものとしては、新型コロナパンデミック時から保管している大量の消毒用アルコールがあった。これについては区教委に報告の上、廃棄処分が決まっている。子どもたちの避難経路につ

いては、必ず 2 つ以上の経路が確保できることを確認した。本校の場合、ベランダからの避難ルートはないが、南側（駅側）に直接脱出する非常ルートがある。そのルートの安全確認も実施し、万が一の場合には、すぐ使えるようにしてある。[笠原]

⑥ 今後の教育活動について

- AI に使われるのではなくそれを活用できる人間を育てる観点から、高井戸小学校を日本一の学校にしたい。情報活用能力についての新カリキュラムは、令和 12 年度から国の施策として予定されているが、高井戸小では前倒しで環境を整え、今年度からパイロット校としてチャレンジしていく。教員には本日共有済みで、彼らの反応には好感触を得た。2 学期以降、保護者のご理解を促進するための通知や説明会などを経て、3 学期より本格開始したいと考えている。
  きちんと AI の光と影を教えつつ、それを「ドラえもん」のように活用し、自分たちの能力を向上させていける子どもたちを育てたい。個別最適の学びを支えるものでもありながら、各自がパソコンに向かいつづけるのではなく、情報技術を使うことによって、対話を含めたアナログ的な能力が更に向上していくような教育を高井戸から発信していきたい。この点を CS の皆さんにもぜひご理解を頂きたい。[笠原]

→ すでに 6 年生の図工で類似の取り組みがあり、互いに刺激を受け合いながら非常に楽しい学びになったと子どもからも聞いている。[下河]

→ 具体的にどのような授業でどのように活用しているといった情報は、3 学期以降に学校ホームページなどでお知らせいただき、必要であれば CS 会議でご解説いただくといった認識でよいか。[和田]

→ その通り。[笠原]

B. 教職員との顔合わせ

時間に都合のつく教員による自己紹介があった。議事録割愛。

C. 学校支援本部より

- 時間の都合により、学校支援本部からの協議伝達事項は、次回共有とする。配布した「放課後児童対策パッケージ 2026」関連資料は、各自でお目通しください。[和田]

4. その他

- 次回、第 4 回学校運営協議会：2026 年 9 月 11 日（金） 15:30～17:00

以上